

夏のエアコン消費量を削減し冬の暖房費を削減し  
地震対策を一枚のフィルムで効果を発揮するガラスフィルム



# ガラスフィルムで 夏・冬を節電対策



夏だけでなく冬も電気を多く使用しています

夏季と比べると少なくなりますが、それでも冬季にエアコンを使用する家庭が多いのもまた事実です。また、エアコンにとっては、冷房時より暖房時のほうが負荷が大きくなります。例えば、夏季に気温が32度のときに室温を27度にするには温度差5度です。それに対して、冬季に気温6度のときに室温を21度にするには温度差15度です。温度差が大きい分、エアコンの仕事量は増えてしまうのです。さらに室外機が結露した場合、これを溶かすため、さらに電力が消費される場合があります。

例) 2010年 夏5,999万kw 2010年 冬5,240万kw ※東京電力HP参照

使用期間においても差があります。地域差はありますが、冷房が必要な時期は6月中旬から9月中旬の約3カ月。一方、暖房が必要な時期は11月中旬から3月末か、4月上旬までとなり、4カ月半も使用することになります。

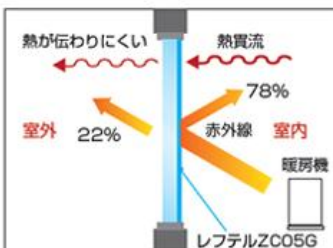
節電は年間を通して考えなければならないことがよくわかります。

冷暖房負荷の軽減。(CO<sub>2</sub>削減=地球温暖化防止対策)

私達からのご提案・・・冬の断熱に優れたレフテルZCタイプ

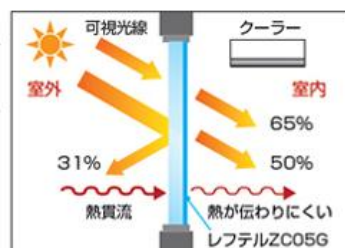
**冬** 暖房機からの熱を反射し、戸外に逃がさず、暖房コストを節減できます。

室内の暖房熱を外に逃がさず暖房負荷を軽減し、窓際の寒さを軽減し室内の温度差をなくす。



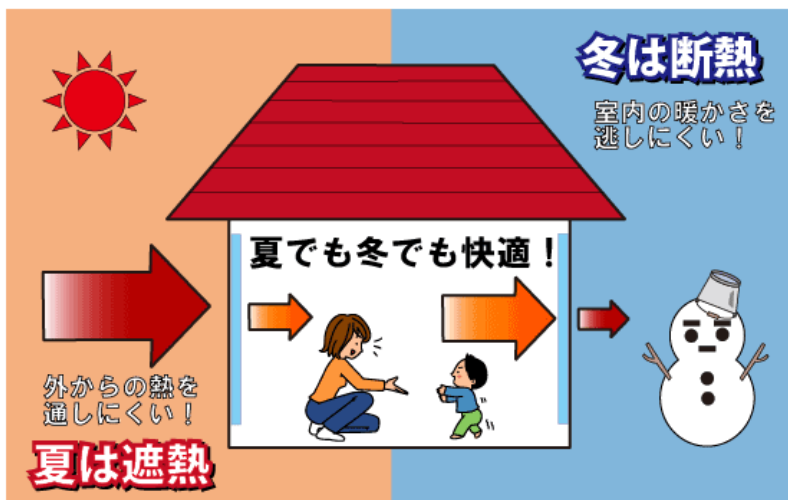
**夏** 太陽からの熱線を遮断し、室温の上昇をふせぎ、冷房コストを節減できます。

日射直射による熱を遮る他、窓ガラスの吸収熱が室内に入る(放射熱)のを減少し、実際のほてり感を減らし室内の温度差を減少させ、冷房負荷の軽減に貢献する。



レフテルを使用して地球温暖化防止対策や省エネ対策として設定温度の2°C緩和を実施すると

- ①適度の日射熱遮断により冬季の暖房熱負荷増が少ない
- ②年間を通じて省エネになる
- ③明るく照明負担がない
- ④カーテンやブラインド使用頻度の減少
- ⑤外がよく見え色調変化もなく環境ストレスが少ない



東日本大震災と原発事故以来、更に原発再稼働不可問題により、省エネ節電の需要は未曾有の高まりを見せています。

オフィスビルや工場をはじめ、ありとあらゆる商業施設やご家庭でも、夏の電気代削減と冬の暖房費削減が必須となり、その対策として、窓ガラスの夏遮熱と冬断熱があげられます。

リンテックが開発したZC06T及びZC05Gは、透明度を保ちながら、遮熱性能及び断熱性能を最大限に引き上げた画期的なガラスフィルムです。

最新技術による特殊皮膜層によって、室内へ侵入する日射熱を約40%カットして夏季の室温上昇を抑え、冬期は室内の熱を効率的に反射させることにより窓ガラスから室外へ逃げる熱量を約30%軽減する断熱効果を発揮し、夏のエアコン消費電力量と冬の暖房費削減に大きく貢献します。

フィルム総厚は85ミクロンあり、震災時のガラス飛散防止効果もあります。

### 製品データ(光学的性能)

	ZC06T	ZC05G
グレード	ZC06T	ZC05G
フィルム全厚	85 $\mu$	85 $\mu$
可視光線透過率	75%	65%
可視光線反射率	12%	21%
紫外線透過率	<1%	<1%
日射透過率	60%	45%
日射反射率	22%	33%
日射吸収率	18%	22%
遮へい係数	0.69	0.57
熱貫流率 (W/m <sup>2</sup> K)	4.2	4.1
日射熱取得率	0.61	0.50

### 製品概要

特徴	熱貫流率が低く、輻射熱を抑え窓際の温度差を改善します	
用途	平板ガラス内貼り用	
グレード	ZC06T	ZC05G
日射調整	○	○
飛散防止	◎	◎
紫外線カット	○	○
電磁波シールド	○	○
グリーン購入法適合	-	○
ロール幅	970mm 及び 1,250mm	
ロール長さ	30メートル	

※貼り方は、ウインドウフィルムの貼り方と同じです。